

漁海況速報

No.1

平成19年1月12日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮系冷水の勢力は前々週同様弱いが、季節変動により本県沿岸域は9~10°C台となった。

②黒潮系暖水の目立った波及びみられないが、塩屋埼沖距岸50海里付近には15°C台が見られる。

③定地水温は、小名浜・大熊・松川浦とも平年並み。

見通し（1週間）

・現状並みの海況で推移するでしょう。

-「漁海況速報」の作成方法-

・海況図

人工衛星による表面水温値を参考に、船舶等による実測水温に基づいて、発行日から1週間前までのデータを用いて作図を行っております。

・定地水温

小名浜…みさき公園下からの揚水を計測（午前9時）

大熊…第一原発取水口からの揚水を計測（午前9時）

松川浦…湾口部の表面を計測（午前10時）

広野沖…広野地先約40kmの水深5mで測定（午前7時）

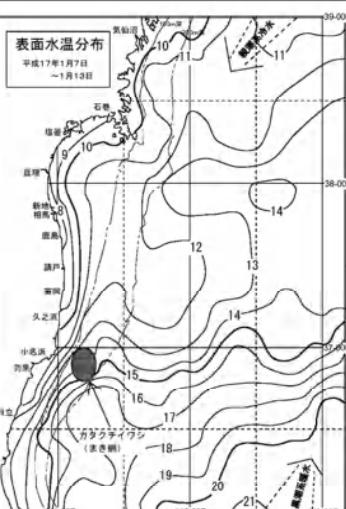
・漁況概況について

データ期間…原則として、発行日前週の木曜日から、その週の水曜日までの水揚情報を探載しております。

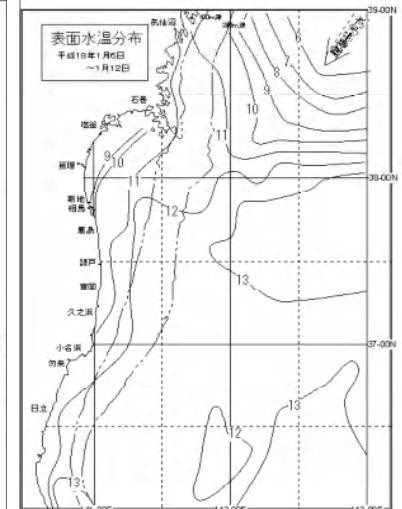
整理方法…各漁協について漁業種類・魚種ごとに集計し、水揚金額の高い漁獲物順に掲載しております。

（ご不明な点は、水試漁業部までお問い合わせください）
本年もよろしくお願ひいたします。

平成17年同期



平成18年同期



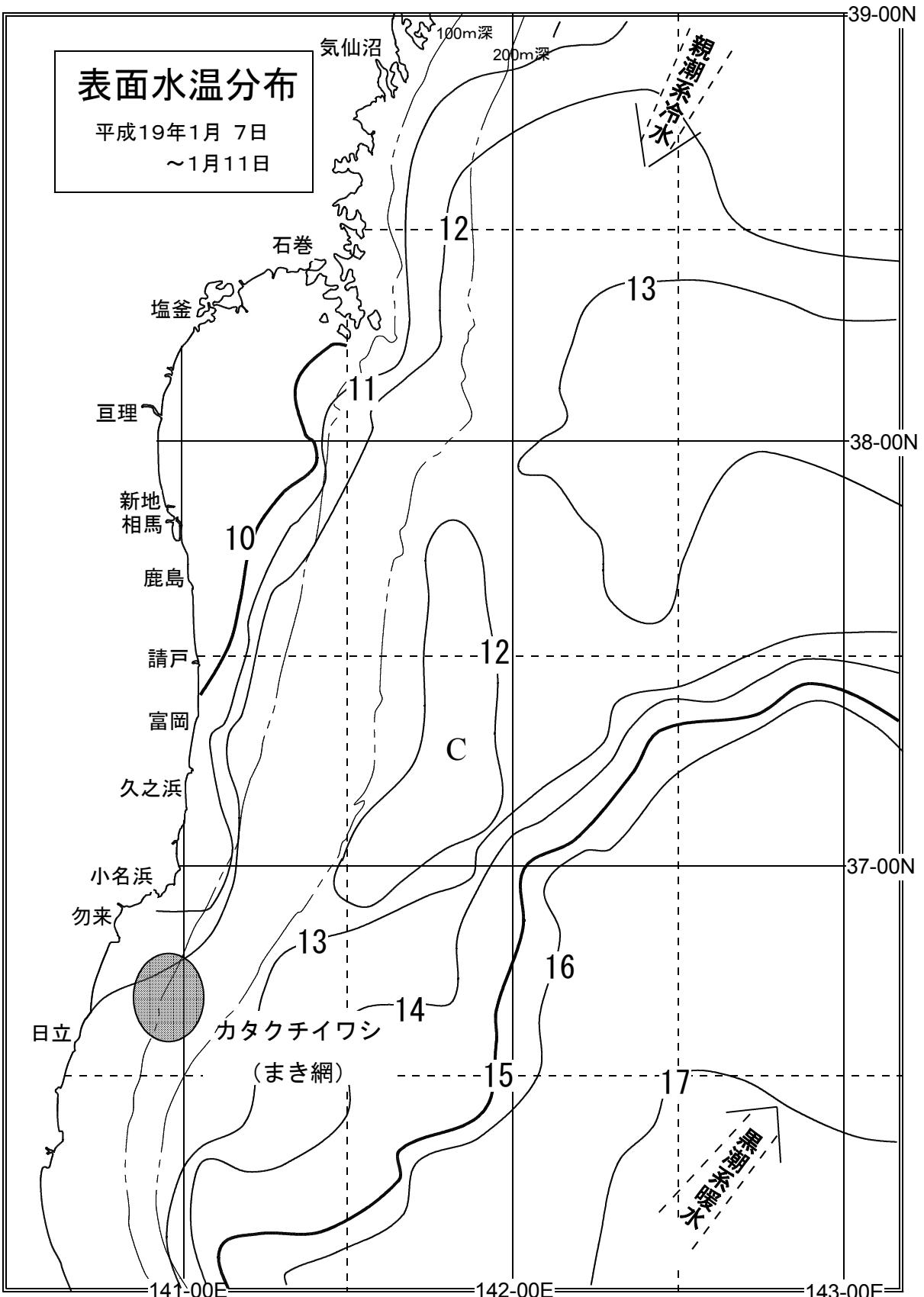
定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/5	11.1	10.5	8.3	13.7
1/8	—	—	—	13.6
1/9	11.6	10.6	8.4	13.6
1/10	11.3	10.1	9.1	13.6
1/11	11.1	10.6	8.5	13.6

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

表面水温分布

平成19年1月 7日
~1月11日



漁海況速報

No.2

平成19年1月19日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮系冷水の本県海域への目立った波及はみられず、本県沖の灘側の水温は8~10°C台で先週並み。

②黒潮系暖水は本県沖40~50海里より沖合に波及がみられ、これより灘側では目立った波及はみられない。

③定地水温は、小名浜・大熊・松川浦とも平年並み。

見通し（1週間）

・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報（シラス）

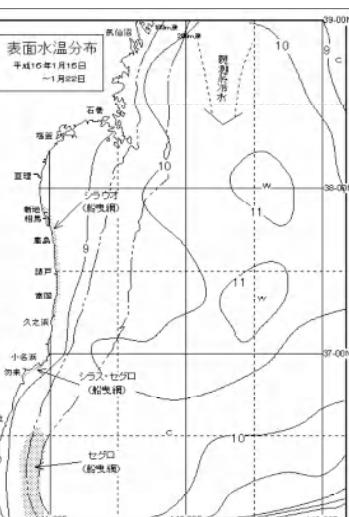
・平成18年漁期のシラスの水揚状況は以下のとおりでした。

	水揚量(kg)	金額(千円)	単価(円/kg)
平成18年	985,147	536,995	545
平成17年	1,867,743	679,818	364
過去5年平均	991,577	380,417	384
平成18年と過去5年平均との比	99.4%	141.2%	142.1%

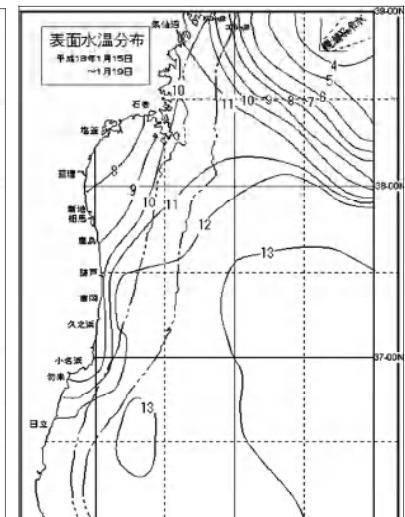
※注…平成18年の数値は速報値

・シラス漁はここ数年漁獲のなかった5月~6月頃に水揚がみられ、8月中旬以降本格化しました。10月の月間水揚量はここ数年で最高の水揚を記録した昨年を上回る水揚量となりましたが、今年累計の水揚量は昨年比でいわき地区では28.5%、相双地区では58.6%、全県では52.7%でした。

平成17年同期



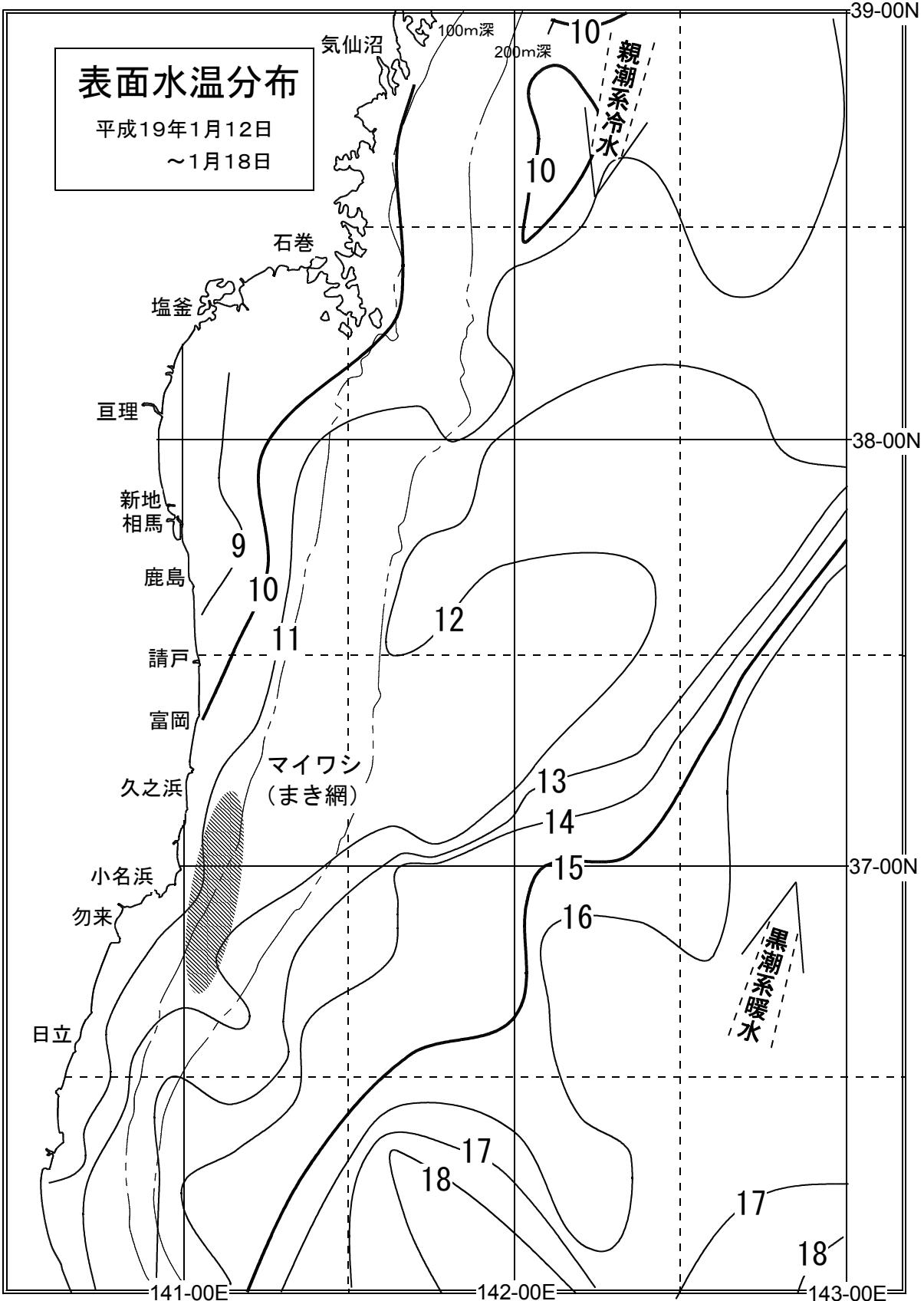
平成18年同期



定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/12	10.5	10.7	8.6	11.5
1/15	9.9	10.3	8.4	11.0
1/16	10.1	10.3	8.2	12.1
1/17	10.7	10.6	8.0	11.0
1/18	10.3	10.2	7.6	11.1

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



漁海況速報

No.3

平成19年1月26日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮系冷水の本県海域への目立った波及はみられないが、本県沖の灘側の水温は先週より1°C程度降温した。

②本県沖50海里より沖合にみられる黒潮系暖水は先週より勢力を増し、15°C台が広く分布したが、これより灘側では目立った波及はみられない。

③定地水温は、小名浜・大熊・松川浦とも平年並み。

見通し（1週間）

・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成19年1月海洋観測結果

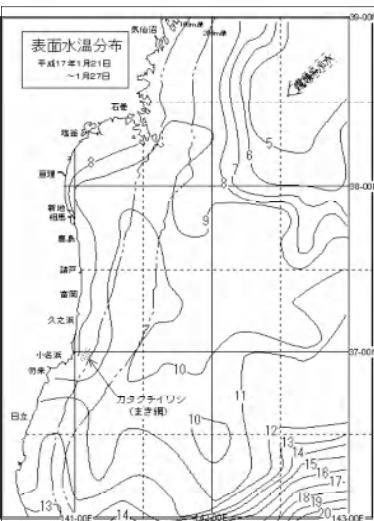
- 1月22~24日に本県調査船「いわき丸」にて行いました海洋観測結果をお知らせします。
- 観測された水温の定線ごとの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

(単位: °C)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	12.21	+0.06	-0.86
	富岡	12.13	+0.24	-0.09
	鵜ノ尾	11.13	+0.20	+0.36
100m深	全体	11.82	+0.17	-0.19
	塩屋	10.78	-1.61	-1.28
	富岡	11.19	-1.09	-0.54
	鵜ノ尾	11.39	-0.46	+0.69
	全体	10.98	-1.16	-0.56

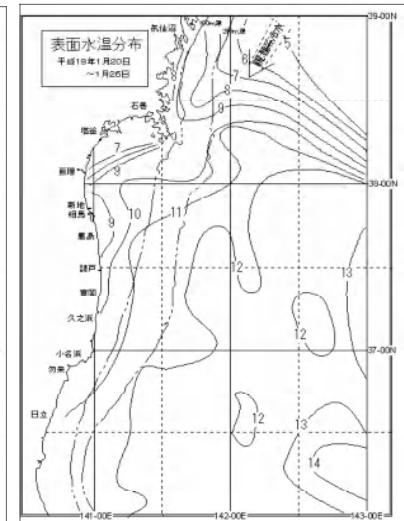
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- 本県沖の灘から30海里付近までは、表面から100m深付近まで10~11°C台が広く分布しており、平年よりやや低めの水温の定点もみられましたが、これより沖合では沖から波及している黒潮系暖水の影響により、40~50海里沖付近では平年よりやや高めの水温もみされました。

平成17年同期



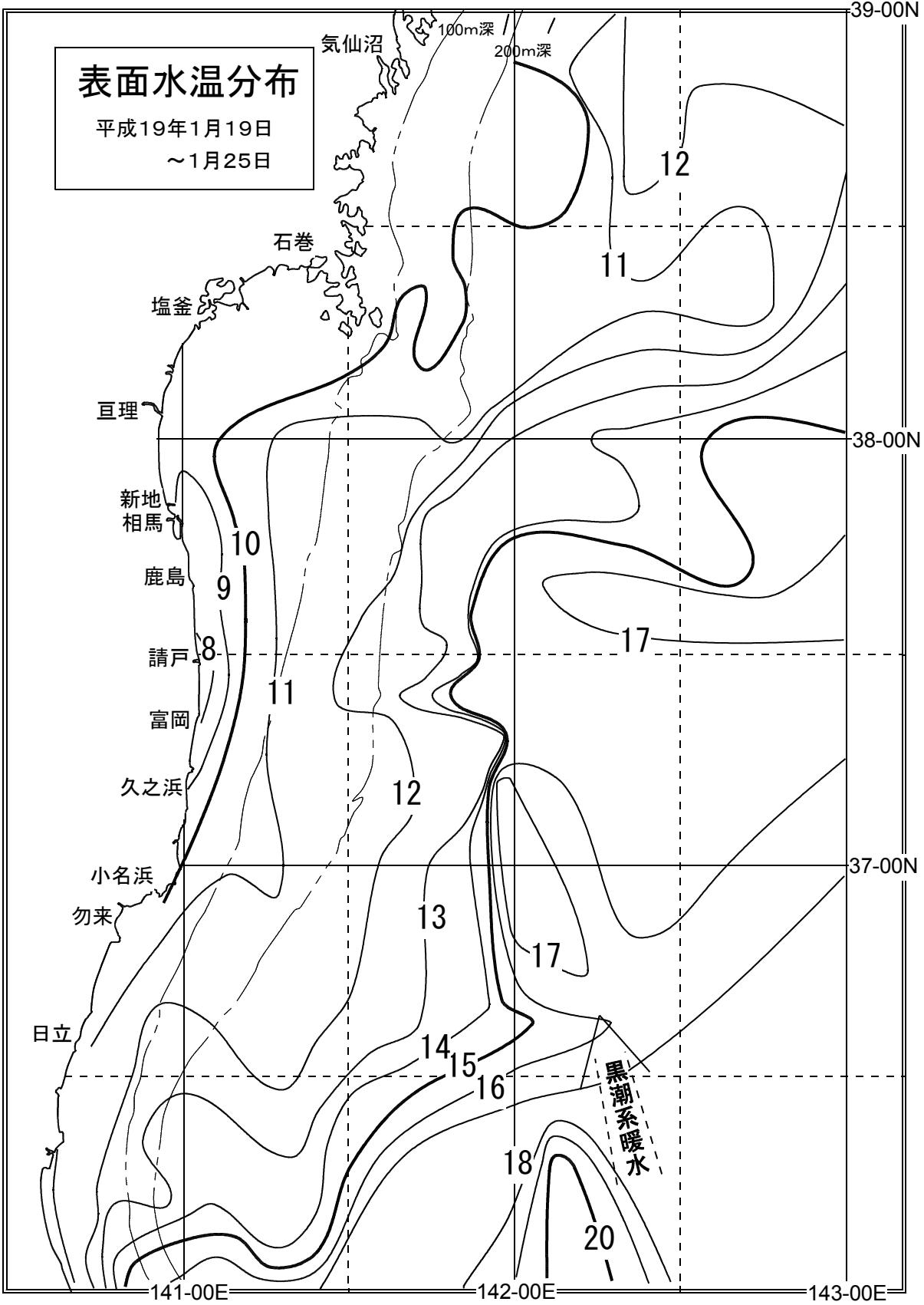
平成18年同期



定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/19	10.5	9.9	7.3	13.2
1/22	10.0	9.4	8.4	13.8
1/23	10.1	9.8	7.9	15.4
1/24	10.0	9.1	8.1	15.4
1/25	9.8	9.1	7.7	14.7

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)



漁海況速報

No.4

平成19年2月2日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮系冷水の本県海域への目立った波及はみられない。

②黒潮系暖水の沖合からの波及は先週より勢力を増し、本県沖10海里より沖合には12～13°C台が、40海里より沖合には15～17°C台が広く分布している。

③定地水温は、小名浜は平年並み、大熊は平年より1°C、松川浦は2°C高め。

見通し（1週間）

・現状並みの海況で推移するでしょう。

定地・定点水温の推移(°C)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
1/26	9.7	9.3	8.4	10.8
1/29	9.8	9.5	8.5	12.9
1/30	9.5	10.6	8.3	14.0
1/31	9.8	9.7	8.6	13.9
2/1	10.1	10.3	8.5	13.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成19年コウナゴ漁期前調査結果

・平成19年1月22～24日に調査船「拓水」で実施した漁期前調査の結果をお知らせします。

調査方法

定線：鵜ノ尾崎、請戸、小名浜の3定線

定点：各定線の水深10mを起点に、2マイルごとに設定

方法：水深10mを丸稚ネットで5分間曳網（10m点のみ表層）

調査結果

1 採集尾数

採集尾数は昨年比で、鵜ノ尾崎定線が43%、請戸が15%、小名浜は皆無、総計で21%と少ない状況でした。

2 採集サイズ

全長2～9mm台で、3～5mm台が中心です。

昨年同時期（平成18年1月24～26日）は、全長3～16mm台で、5～8mmにモードが見られていました。現状では2mm程度小型です。（下図参照）

今後は、2月中旬から「拓水」の中層トロール調査を行い、成長、分布状況等の調査を継続していきます。

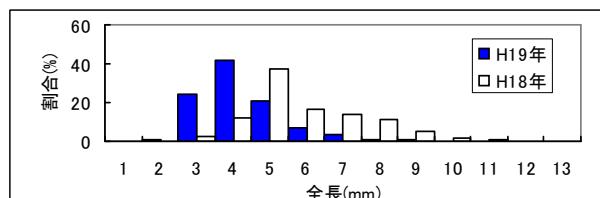
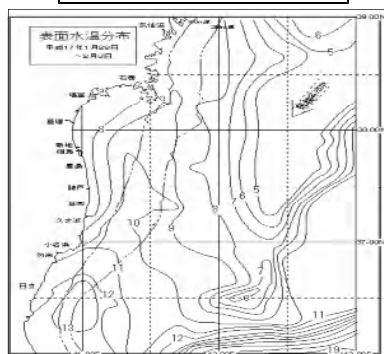
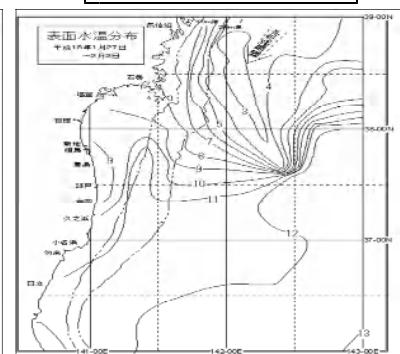


図 採集されたコウナゴの体長組成

平成17年同期

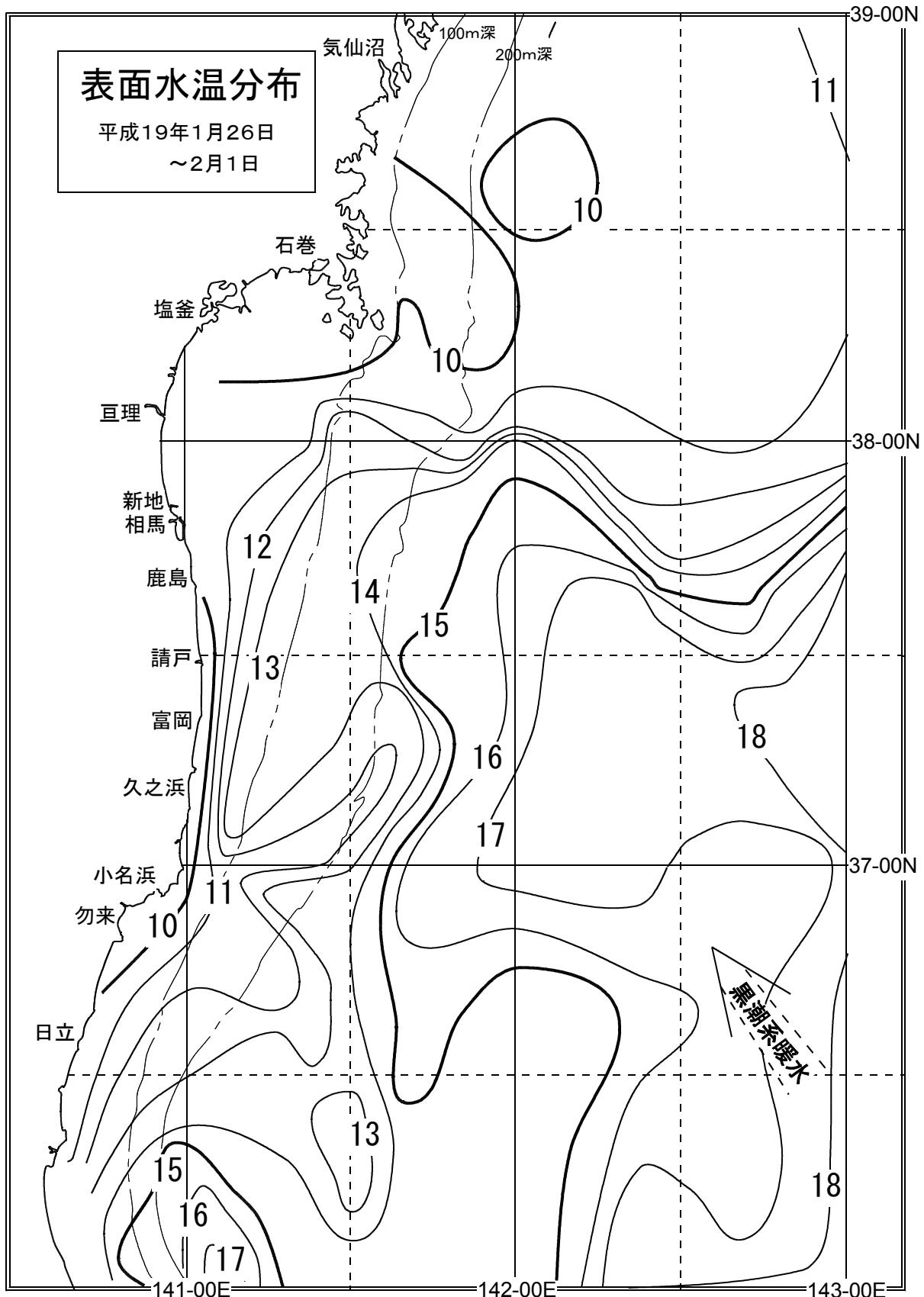


平成18年同期



表面水温分布

平成19年1月26日
～2月1日



漁海況速報

No.5

平成19年2月9日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮系冷水の本県海域への目立った波及はみられないが、本県北部海域沖40海里付近に9°C台が分布している。

②黒潮系暖水は本県南部海域では先週より勢力を増し、沖合から30海里沖付近まで15°C台以上が分布している。

③定地水温は、小名浜は平年並み、大熊・松川浦は平年より1°C高い。

見通し（1週間）

・現状並みの海況で推移するでしょう。

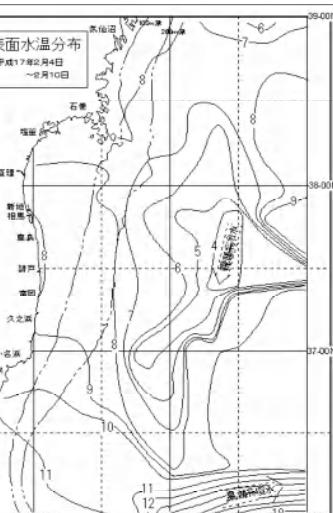
漁況情報（ホッキ貝）

・1月末をもって今漁期が終漁となりました、ホッキ貝の水揚状況は以下のとおりでした。

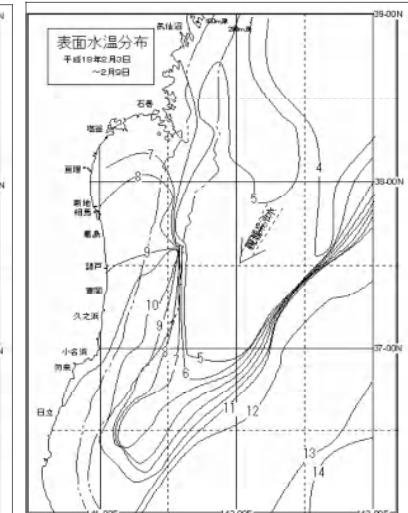
	平成18年度漁期	平成17年度漁期	昨年比
いわき 地区	数量(kg)	313,306	363,727
	金額(千円)	84,006	98,060
	単価(円/kg)	268	270
相双地区	数量(kg)	461,113	314,683
	金額(千円)	156,640	138,268
	単価(円/kg)	340	439
県内合計	数量(kg)	774,419	678,410
	金額(千円)	240,646	236,328
	単価(円/kg)	311	348

・漁獲主体であった平成5～6年生まれの個体の減少に伴い、ここ数年漁獲量の減少が続いておりましたが、平成15年生まれの個体が獲れ始め、今漁期は相双地区では漁獲量の増加がみられました。しかし、まだ小型のものが多いため単価は低めで推移しました。

平成17年同期



平成18年同期



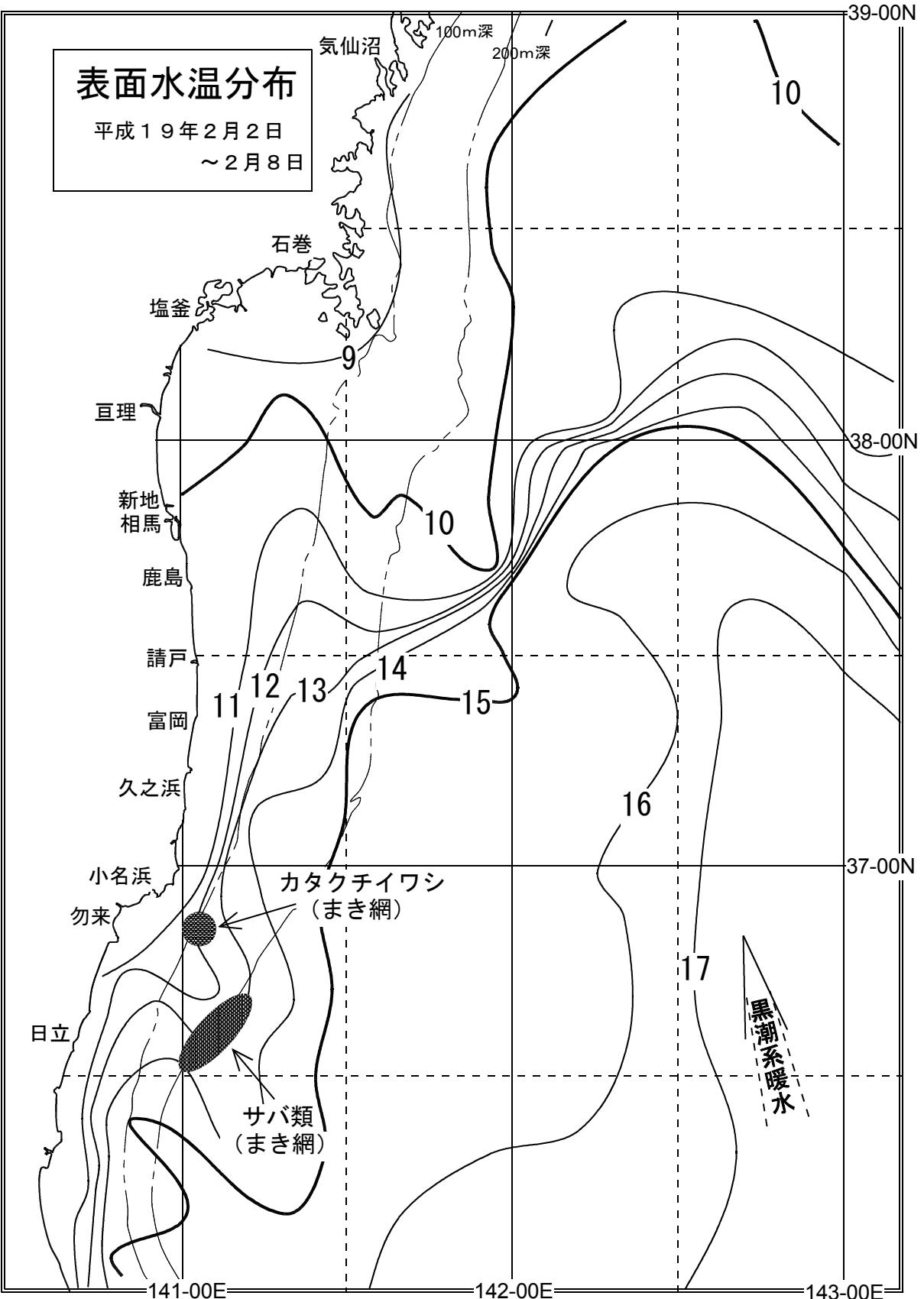
定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/2	9.8	9.5	7.6	12.9
2/5	9.3	9.7	7.4	14.6
2/6	9.8	10.2	8.1	14.8
2/7	10.1	10.3	7.8	14.5
2/8	9.8	10.1	7.8	14.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成19年2月2日
～2月8日



漁海況速報

No.6

平成19年2月16日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮系冷水の本県海域への目立った波及はみられないが、本県中北部海域沖30海里付近に9°C台が北より差し込んでいる。

②黒潮系暖水の波及は先週並で、沖合から30~40海里沖付近まで14°C台以上が分布している。

③定地水温は、小名浜は平年並み、大熊・松川浦は平年より1°C高い。

見通し（1週間）

・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報（底魚類の水揚状況）

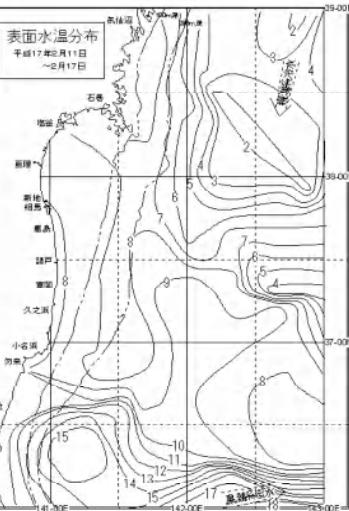
・平成18年の底魚類の水揚（概数値）についてお知らせします。

水揚金額上位魚種の漁獲状況

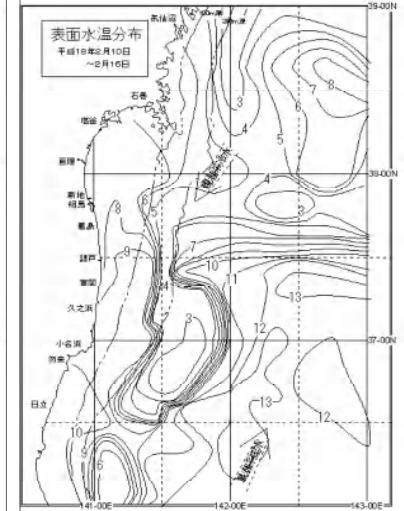
順位	魚種名	漁獲金額(百万円)			漁獲量(トン)		
		平成18年	平成17年	対前年比%	平成18年	平成17年	対前年比%
1	ヒラメ	575	426	135	599	310	193
2	ヤナギダコ	568	559	102	2,195	1,852	119
3	マガレイ	522	470	111	1,417	1,116	127
4	イシガレイ	443	325	136	704	474	149
5	ミズダコ	372	491	76	693	976	71
6	マコガレイ	317	226	140	476	313	152
7	マダラ	310	472	66	1,304	1,867	70
8	マアナゴ	281	296	95	379	362	105
9	ナメタガレイ	278	230	120	336	257	131
10	アンコウ	181	149	122	395	236	168

- ・漁獲金額の上位はヒラメ、ヤナギダコ、マガレイでした。3種の漁獲量は前年を上回っており、ヒラメ290トン、ヤナギダコ340トン、マガレイ300トンの増加となりました。
- ・ヒラメ、ヤナギダコは新規加入資源が多かったため、マガレイは前年に加入した資源が成長したことにより漁獲量が増加しました。特にヒラメはH17年生まれの資源量が非常に多く、9月以降の漁獲量が大きく伸びました。

平成17年同期



平成18年同期



定地・定点水温の推移(°C)

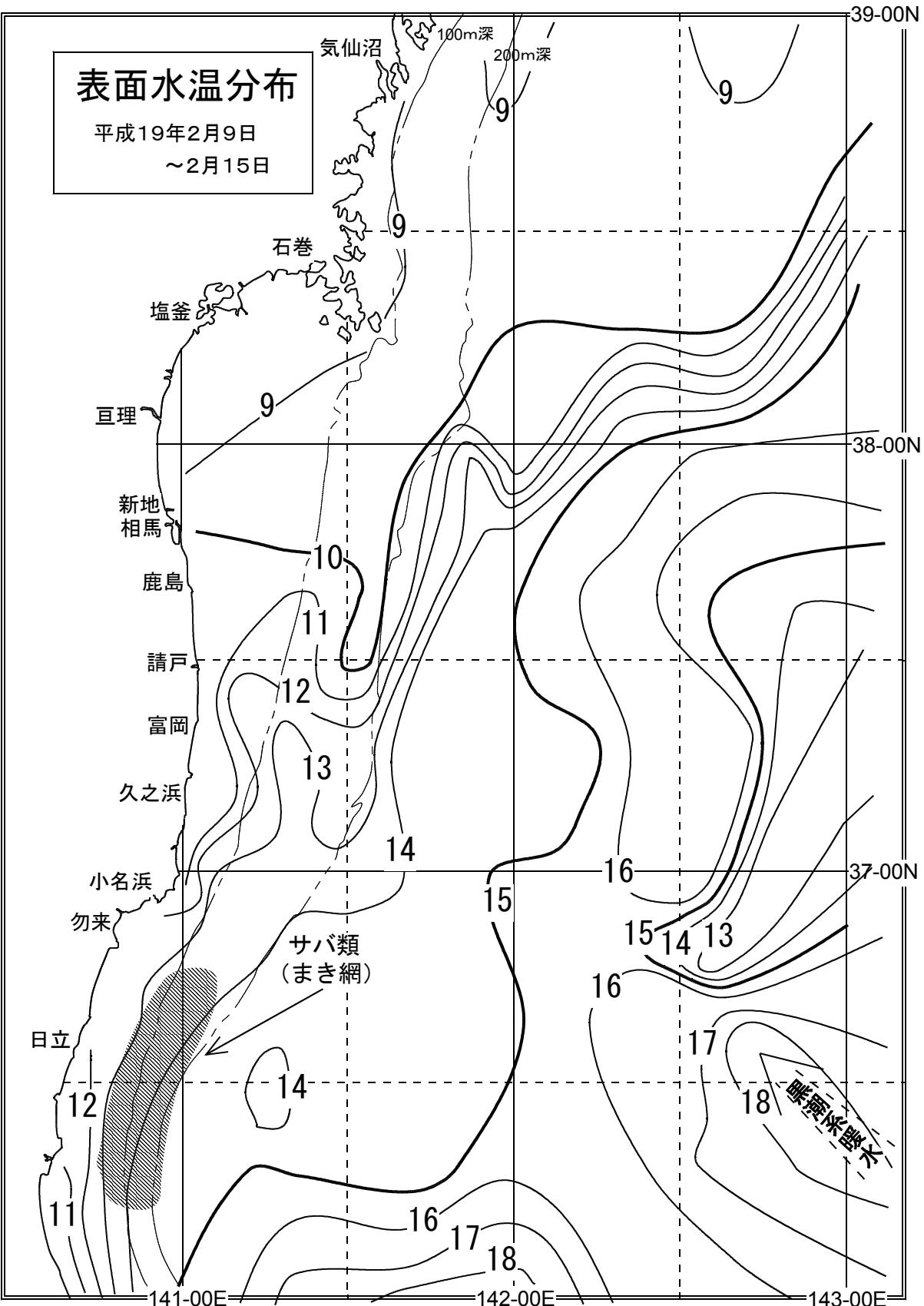
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/9	9.6	9.6	8.3	14.0
2/12	—	—	—	11.6
2/13	9.8	9.3	7.8	12.4
2/14	9.5	9.2	7.9	11.3
2/15	10.0	9.4	7.5	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成19年2月9日

~2月15日



漁海況速報

No.7

平成19年2月23日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の本県海域への目立った波及はみられないが、本県北部海域沖40海里より灘側には8~9°C台が分布している。
- ②黒潮系暖水の波及は先週並みだが、本県中南部海域沖10海里より灘側では1°C程度降温し、8~9°C台が分布している。
- ③定地水温は、小名浜は平年並み、大熊・松川浦は平年より1°C高い。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成19年2月海洋観測結果

・2月13日、19~20日に本県調査船「いわき丸」にて行いました海洋観測結果をお知らせします。

・観測された水温の定線ごとの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	13.44	+5.54	+2.82
	富岡	12.77	+3.11	+3.29
	鵜ノ尾	9.37	+3.09	+1.05
	全体	11.86	+3.91	+2.39
100m深	塩屋	11.22	+5.19	+1.98
	富岡	12.64	+6.88	+4.09
	鵜ノ尾	9.08	+3.90	+1.34
	全体	11.34	+5.57	+2.63

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・本県中南部海域を中心に黒潮系暖水の波及が顕著にみられ、特に30~50海里沖では多くの定点で平年より極めて高めの水温がみされました。

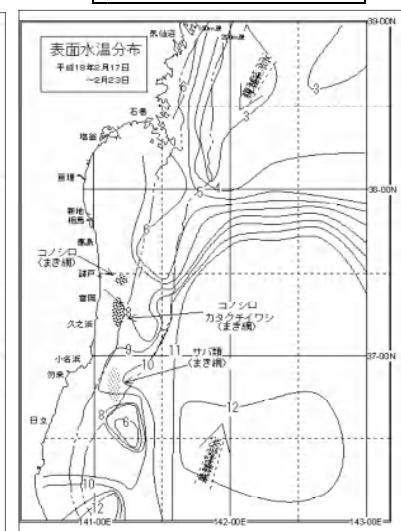
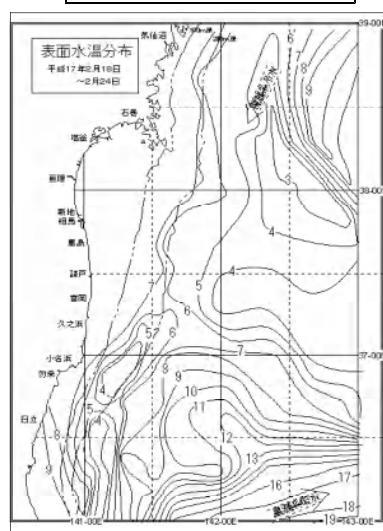
平成17年同期

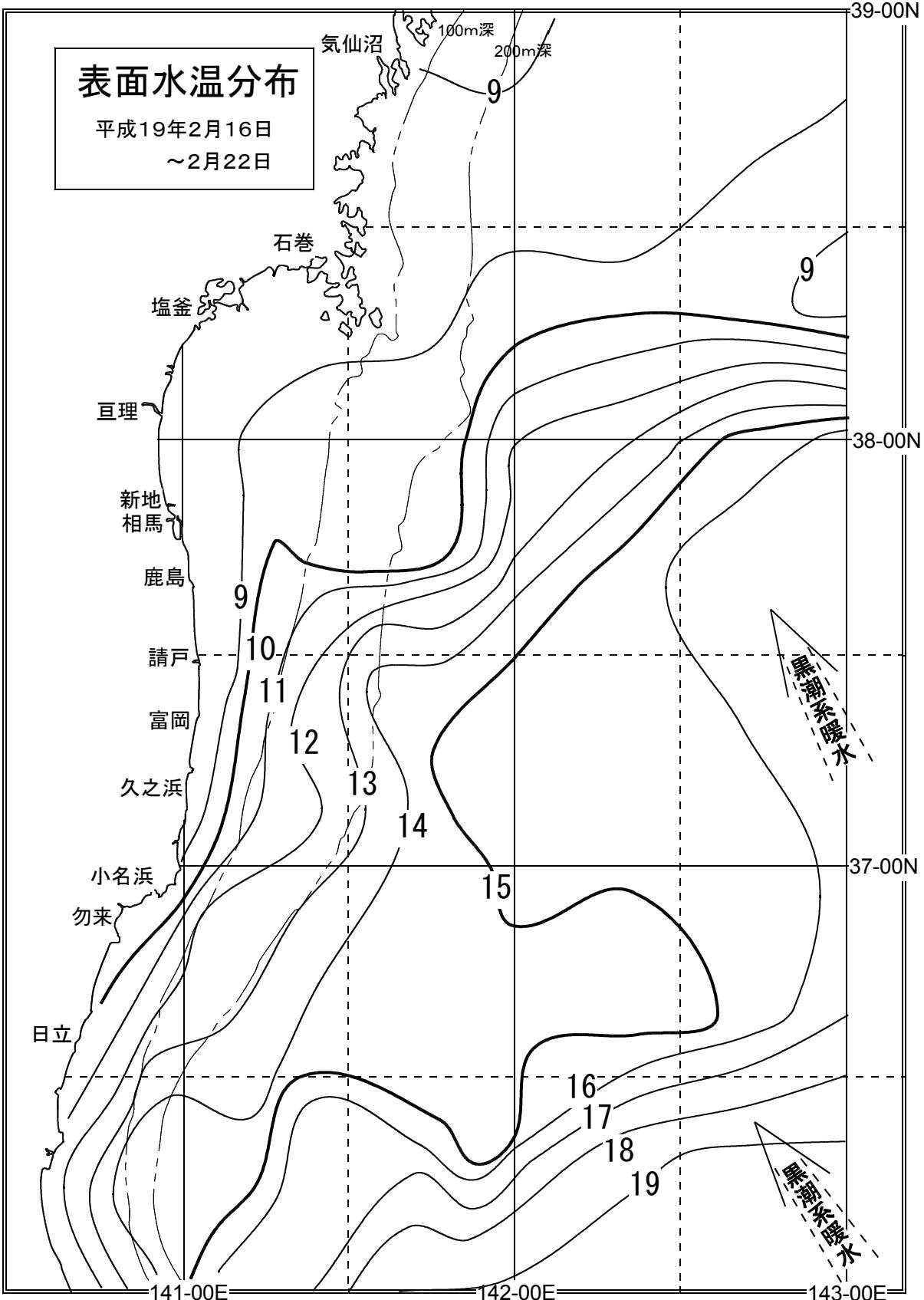
平成18年同期

定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/16	9.4	8.7	6.6	9.4
2/19	9.4	10.2	7.1	11.4
2/20	9.5	9.4	8.1	14.1
2/21	9.3	8.6	8.4	14.3
2/22	9.5	8.8	8.9	14.2

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)





漁海況速報

No.8

平成19年3月2日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

①親潮系冷水の本県海域への目立った波及はみられない。

②黒潮系暖水の波及は先週よりやや勢力を増し、本県沖20～30海里より沖合で13°C以上となった。本県灘側5～10海里には先週に続き8～9°C台が分布している。

③定地水温は、大熊は平年並み、小名浜・松川浦は平年より1°C高い。

見通し（1週間）

・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成18年度東北海区海況予報第5号

・平成19年2月20日に独立行政法人水産総合研究センター・北海道区水産研究所および東北区水産研究所とりまとめにより発表されました標記予報をお知らせします。

＜今後の見通し（2007年3月中旬）＞

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏（35°N～36°N）で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海でやや北偏で推移する。
- (3)釧路沖、常磐沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しが、やや北偏（39°30'N～40°30'Nまで）で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しが、平年並（142°20'E付近まで）で推移する。

＜福島県海域の今後の見通し＞

灘側では引き続き平年並みの水温で推移すると予測される。

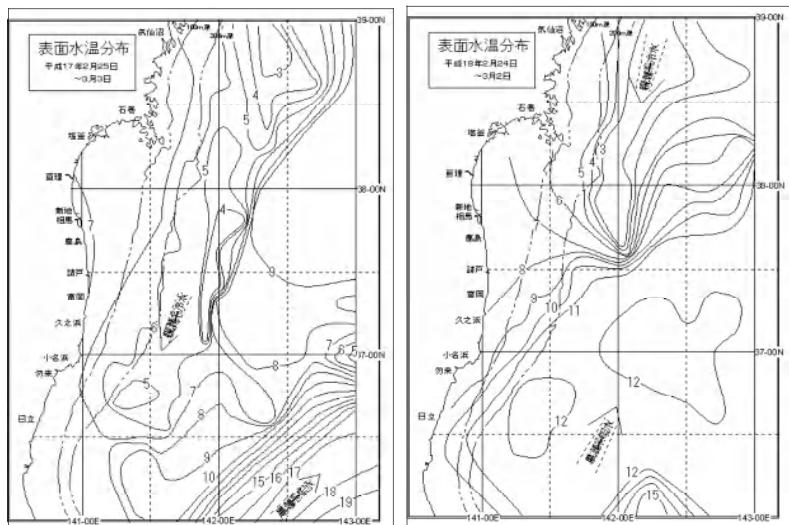
沖合では、現況の親潮弱勢傾向は期間後半に向かうに従い解消してゆき、弱いものの断続的な冷水波及がみられると予測される。

平成17年同期

定地・定点水温の推移(°C)				
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/23	10.0	9.3	8.3	14.1
2/26	9.4	9.0	7.6	13.2
2/27	9.3	8.9	8.0	12.6
2/28	9.6	9.1	8.5	15.8
3/1	9.3	8.9	7.3	16.1

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

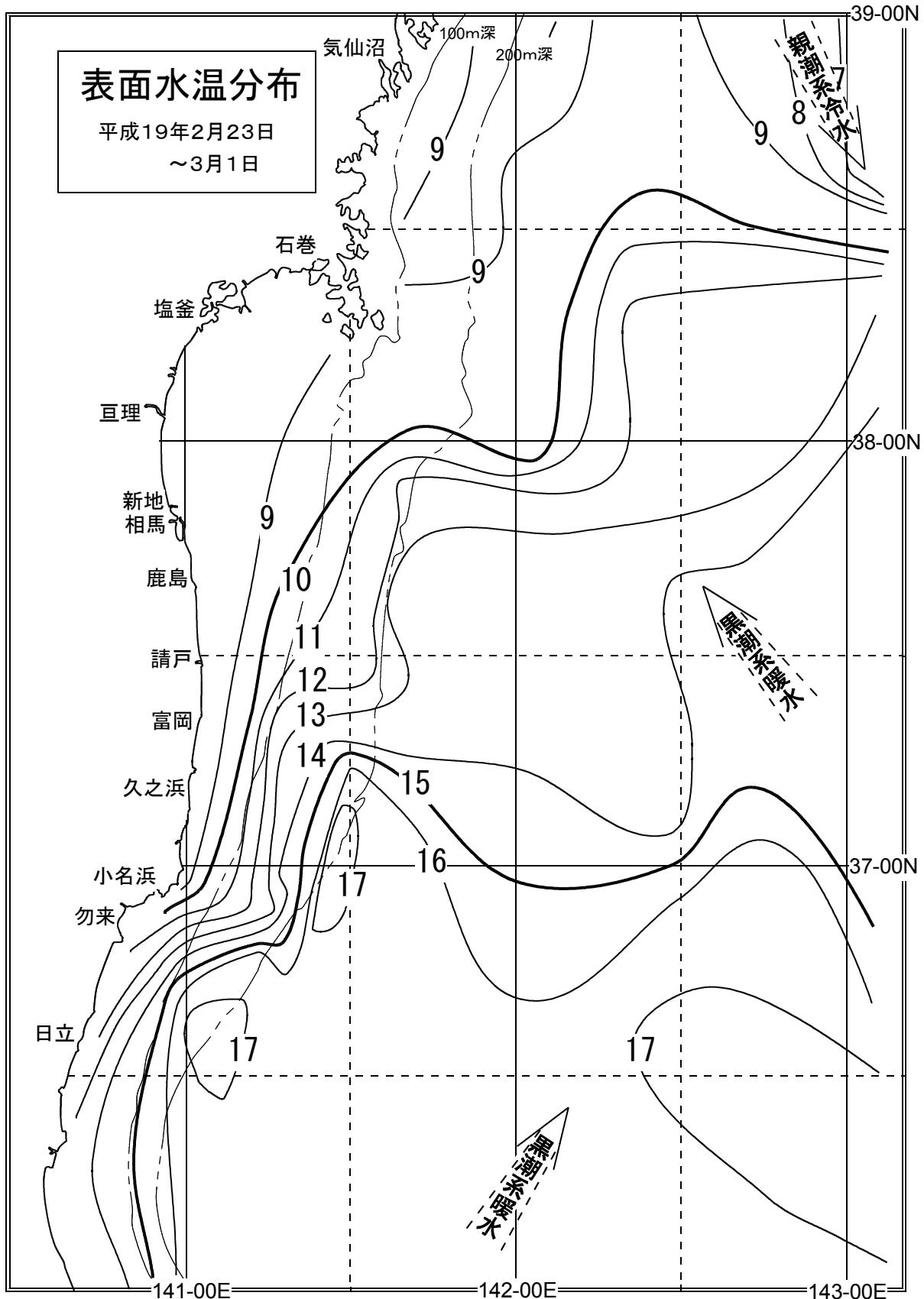
平成18年同期



表面水温分布

平成19年2月23日

~3月1日



漁海況速報

No.9

平成19年3月9日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

- ①親潮系冷水の差込が本県北部海域沖40～50海里にみられ、表面では8～9℃台が分布している。
- ②黒潮系暖水の波及は先週並みだが接岸し、本県中南部海域沖には広く14～16℃台が分布している。
- ③定地水温は、小名浜は平年より3℃、大熊・松川浦は平年より1℃高い。

見通し（1週間）

・本県南部では黒潮系暖水の波及が継続しますが、北部海域では親潮系冷水の波及により水温の低下がみられるでしょう。

平成19年3月海洋観測結果

- ・3月7～9日に本県調査船「いわき丸」で行いました海洋観測結果をお知らせします。
- ・観測された水温の定線ごとの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

	(単位:℃)	観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	15.30	+4.54	+5.86
	富岡	13.56	+4.19	+5.45
	鵜ノ尾	8.86	+0.20	+1.37
100m深	全体	12.57	+2.98	+4.23
	塩屋	15.17	+4.51	+7.04
	富岡	13.95	+3.60	+6.50
	鵜ノ尾	5.26	-3.32	-2.04
	全体	12.28	+2.25	+4.59

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・本県中南部海域では黒潮系暖水の勢力がかなり強く、平年より極めて高めの水温となりましたが、北部海域では40～50海里沖を中心に北からの親潮系冷水の波及がみられ、平年よりやや低めの水温がみされました。

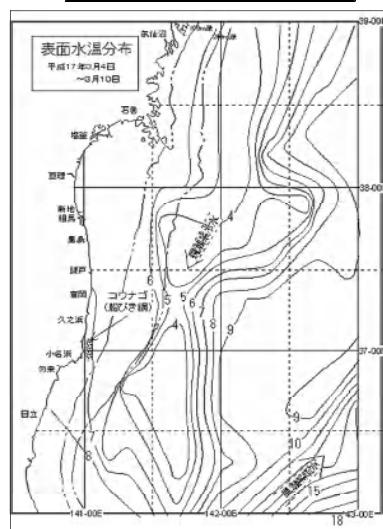
平成17年同期

平成18年同期

定地・定点水温の推移(℃)

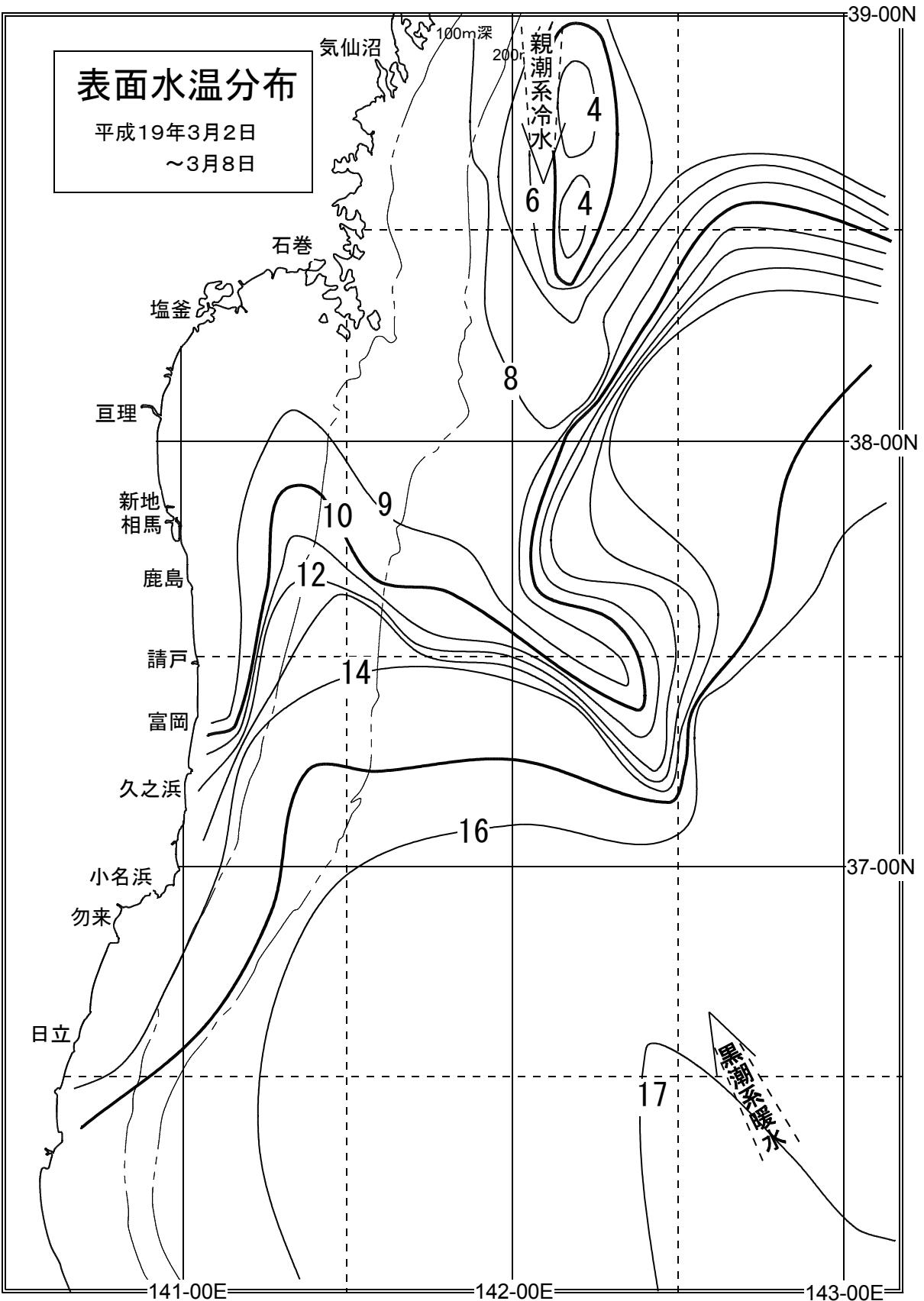
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
3/2	9.2	8.9	7.9	15.8
3/5	12.3	9.9	9.1	14.0
3/6	12.0	9.8	8.9	14.1
3/7	11.5	9.6	7.8	13.2
3/8	11.5	9.3	7.7	14.7

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



表面水温分布

平成19年3月2日
~3月8日



漁海況速報

No.10

平成19年3月16日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

- ①親潮系冷水の差しこみは先週よりやや弱まったが、8~9°C台が県北・中海域の距岸40~50海里付近に見られる。
- ②黒潮系暖水の波及は先週同様強く、本県中南部海域沖には広く14~16°C台が分布している。
- ③定地水温は、松川浦は平年並み、小名浜・大熊は平年より1°C高い。

見通し（1週間）

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報（コウナゴ漁）

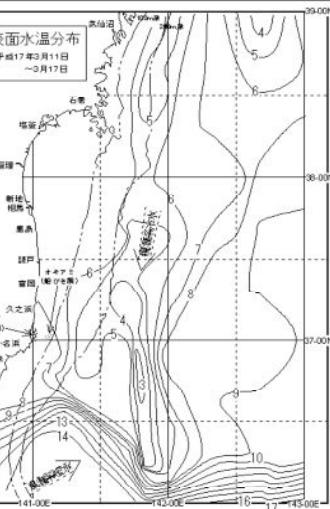
- ・いわき海域では2月20日、相双海域では3月7日から水揚げが始まりました。
- ・いわき海域では数日の操業の後、サヨリ曳き等に転向しています。相双海域では漁場は分散していますが、水揚げ量（3月14日現在）は約26トンとなっています。
- ・今期は平均単価が1,056円/kgと高く、前年の約2倍となっています。

コウナゴ水揚げ状況（3月14日現在）

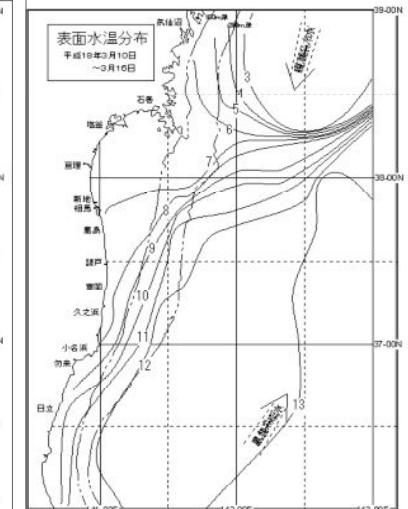
	水揚げ量(kg)		平均単価(円/kg)	
	H19年	H18年	H19年	H18年
相双	24,423	4,663	1,047	488
いわき	1,989	8,972	1,158	554
合計	26,412	13,635	1,056	532

- ・3月14、15日の拓水の調査では、鵜ノ尾崎沖は7~8°C台でしたが、請戸沖4マイルには11°C台が波及しており、漁場形成への影響が気になります。

平成17年同期



平成18年同期



定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
3/9	9.6	9.2	8.5	13.4
3/12	9.8	9.5	7.2	13.0
3/13	9.5	9.9	7.2	12.7
3/14	10.0	8.8	7.1	13.7
3/15	9.4	9.4	6.9	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成19年3月9日

~3月15日

